

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2018-90810(P2018-90810A)

【公開日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2018-104(P2018-104)

【国際特許分類】

C 0 8 F 4/02 (2006.01)

C 0 8 F 210/02 (2006.01)

C 0 8 F 4/6592 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 4/02

C 0 8 F 210/02

C 0 8 F 4/6592

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月5日(2018.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

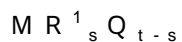
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

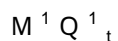
i) 連結化合物及び該連結化合物と接触する担体物質、及び

i i) 2 以上の芳香族基を有し、2 以上の該芳香族基がそれぞれ芳香族基に 1 以上の極性一塩基性基を有する多官能性化合物、

を含む活性剤前駆体組成物であって、該連結化合物が有機金属化合物、非有機金属化合物又はそれらの混合物であり、該連結化合物が有機金属化合物である場合には、式：



を有する有機金属化合物であり、式中、M は M g、S c、Y、T i、Z r、H f、V、N b、T a、Z n、B、G a、I n、S n 及びそれらの混合物から選択される金属原子を表し； R^1 は同じであるか又は異なってもよく、且つ C_1 - C_{20} ヒドロカルビル基を表し、該ヒドロカルビル基のベータ炭素は S i で置き換えられてもよく；Q はヘテロ原子又はヘテロ原子含有有機基を表し、該ヘテロ原子は該ヘテロ原子を介して M に直接結合し；t は M の原子価を表し、s は $2 \leq s \leq t$ である数である、また、該連結化合物が非有機金属化合物である場合には、式：



で表される非有機金属化合物である、式中、 M^1 は M g、A l、S c、Y、T i、Z r、H f、V、N b、T a、C r、M o、W、M n、F e、C o、N i、C u、Z n、B、G a、I n、S i、G e、S n、L a、C e、E r、Y b、L u 及びそれらの混合物から選択される金属原子を表し； Q^1 は同じであるか又は異なってもよく、且つヘテロ原子又はヘテロ原子含有有機基を表し、該ヘテロ原子又は該ヘテロ原子含有基は該ヘテロ原子を介して M^1 に直接結合し；t は M^1 の原子価を表し、前記多官能性化合物は芳香族ポリオールである、

活性剤前駆体組成物。